

長崎県島原市 (有)島原自然塾

女性の活躍と消費者目線が経営に大きな効果

代表者名	酒井 澄晴	資本金	3 百万円
設立年	2003 年 10 月 6 日	売上高	580 百万円(2015 年 8 月期)
事業内容	生産(ニンジン等)、消費者直売、加工・製造、観光・交流		
経営規模	田 14ha、畑 7.5ha、施設 1,018 ㎡		
従事者数	33 人 うち女性 17 人 (女性内訳: 役員 2 人、管理職 4 人、一般職 3 人、常勤パート 8 人)		
女性活躍支援	＜女性に配慮して取組んでいる制度＞ 休暇(産前産後・育児)、短時間勤務制度、育児・介護休業中の能力向上、育児休業後の継続就業支援 ＜女性に配慮して取組んだ環境整備＞ 施設設備関係(休憩室・屋内トイレ・シャワーの設置)、重労働等の業務改善、技術・知識の習得支援		



□女性活躍のポイント

- 消費者目線でのパッケージや販売方法など女性従業員の持つ感性を取り入れ経営を行う事が会社の発展のポイントと位置づけ、会社の理念に「女性の感性やアイデアを生かす」を明記。
- 1995 年に家族経営協定を締結・更新してきたことが、2003 年の法人設立のベースとなった。協定には取締役の酒井美代子氏（代表の妻）の「社会参画への家族の協力」等の項目が入っており、法人化した今でも更新。さらに島原自然塾と連携している生産者グループにも家族経営協定を推進。
- 従業員の雇用に際しても男女問わず、また子育てしやすい就業時間、育児休業制度なども整備し、仕事と家庭の両立支援の仕組みを充実。
- 生産者グループの若い女性たちを対象とした簿記研修会を企画し、各経営体において女性が経営記帳を役割として担い、経営参画できるよう支援。
- 女性従業員も農業技術検定、大型特殊免許取得研修、フォークリフト運転資格等の研修会に派遣。その結果、作業効率が高まり、残業時間の削減効果をもたらした。